作成日: 2014年02月06日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 :シクロヘキサノン

会社名 :純正化学株式会社
住所 :埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 :品質保証部
電話 :048-986-6161
FAX :048-989-2787
E-mail :shiyaku-t@junsei.co.jp

製品番号(SDS NO) :33785jis-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4
急性毒性(経皮):区分 3
急性毒性(吸入):区分 3
皮膚腐食性及び刺激性:区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2A
皮膚感作性:区分 1
生殖細胞変異原性:区分 2
生殖毒性:区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1

(註)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
飲み込むと有害
皮膚に接触すると有毒
吸入すると有毒(気体、蒸気、粉じん及びミスト)
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策
使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。－禁煙。
容器を密閉する。
容器を接地する/アースをとる。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。
火花を発生させない工具を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
保護手袋/保護衣を着用する。
指定された個人用保護具を使用する。
応急措置
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
口をすすぐ。
汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐ。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗う。
皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。
水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。
貯蔵
施錠して保管する。
換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
物理的及び化学的危険性
燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

---

3. 組成及び成分情報
単一製品・混合物の区別 :単一物質
成分名:シクロヘキサノン
含有量(%):98.0<
化学式:$C_6H_{10}O$
化審法番号:3-2376
CAS No.:108-94-1
ECNO:203-631-1
危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
シクロヘキサノン
安衛法「通知すべき有害物」該当成分

4. 応急措置

一般的な措置

医師に連絡する。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受ける。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐ。
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
多量の水と石鹸で洗う。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。
気分が悪いときは、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

防火服／防炎服／耐火服を着用する。
断熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用する。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
指定された個人用保護具を使用する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。－禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。
火花を発生させない工具を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手する。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
保護手袋/保護衣/保護面を着用する。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

涼しいところに置き、日光から避ける。
施錠して保管する。
換気の良い場所で保管する。容器を密閉する。

---

8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

作業環境評価基準(2009) <= 20 ppm

許容濃度

日本産衛学会(1970) 25ppm; 100mg/m3
ACGIH(1990) TWA: 20ppm
STEL: 50ppm (皮膚)(眼および上気道刺激)

OSHA-PEL

TWA 50ppm, 200mg/m3

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

空気呼吸器（SCBA）を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
汚染された衣類を脱ぐ。

---

9. 物理的及び化学的性質
物理的状態
形状 :油状液体
色 :無色
臭い :特有臭
pHデータなし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
初留点/沸点 :156℃
融点/凝固点 :−32.1℃
分解温度データなし
引火点 :(密閉式)44℃
自然発火温度 :420℃
爆発特性 :引火又は爆発範囲
下限 :1.1vol %(at 100℃)
上限 :9.4vol %
蒸気圧 :500 Pa(20℃)
相対蒸気密度(空気=1) :3.4
20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気＝1) :1.01
比重/密度 :0.95
溶解度
水に対する溶解度 :25g/liter
n−オクタノール／水分配係数 :log Pow0.81

10. 安定性及び反応性
安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
引火性
危険有害反応可能性
この蒸気は空気より重い.。流動、撹拌などにより、静電気が発生することがある。
強力な酸化剤(硝酸など)と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件
混蝕危険物質との接触。
裸火、加熱
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報
物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状
急性毒性
経口毒性成分データ
rat LD50＝800− 1840 mg/kg SIDS(access on Apr, 2009))
経皮毒性成分データ
rabbit LD50＝947 mg/kg（PATTY (5th, 2001))
吸入毒性成分データ
vapor : rat LC50＝2450 ppm（ACGIH, 2003)
労働基準法 疾病化学物質
シクロヘキサノン
局所効果
皮膚腐食性・刺激性
皮膚腐食性/刺激性成分データ

ウサギを用いた腐食性評価の試験で腐食性なし(SIDS(access on Apr, 2009))。
原液を開放適用した試験で刺激性なし(SIDS(access on Apr, 2009))。
試験物質の99%液を24時間閉塞適用した試験では著しい刺激性が見られたが、徐々に軽快し7日目までに消失した(PATTY (5th, 2001))。
眼に対する重篤な損傷・刺激性
眼損傷性/刺激性成分データ
ウサギの眼に試験物質原液を適用により著しい刺激性と角膜損傷を起こした(ACGIH (2003))。
軽度の虹彩炎と結膜炎を伴う角膜傷害は可逆的であったが、適用14日後に未だ角膜に軽度の影響が残った(SIDS(access on Apr, 2009))。
感作性
皮膚感作性成分データ
Frosch接触アレルゲンリスト(FROSCH, TEXTBOOK OF CONTACT DERMATITIS)に収載。
生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性区分2 成分データ
rat : SIDS, 2009
催奇形性データなし
発がん性
IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
ACGIH-A3(1990) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
生殖毒性
生殖毒性区分2 成分データ
rat : DFGOTvol.10 (1998)、SIDS (access on Apr, 2009)
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性 単回ばく露区分1 成分データ
呼吸器系 (SIDS(access on Apr, 2009))
特定標的臓器毒性 単回ばく露区分2 成分データ
中枢神経系(SIDS(access on Apr, 2009))
特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(麻酔作用) 成分データ
麻酔作用(SIDS(access on Apr, 2009))
特定標的臓器毒性 反復ばく露区分1 成分データ
中枢神経系、骨 (ACGIH, 2003)
吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生毒性 成分データ
魚類(ファットヘッドミノー) LC50=527 mg/L/96hr (SIDS, 1996他)
甲殻類(オオミジンコ)LC50 = 800 mg/L/24hr(SIDS, 1996)
水溶解度
25 g/L (PHYSPROP Database, 2005)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性
log Pow=0.81 (ICSC, 2004)

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
番号 :1915
クラス :3
容器等級 :III
正式品名 :シクロヘキサノン
指針番号 :127

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当する化学品を意図的成分として含有せず、
購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。
労働安全衛生法
第2種有機溶剤等:
シクロヘキサノン
名称表示危険/有害物(令18条):
シクロヘキサノン(区分内番号14の4)
別表第1 危険物 (第1条、第6条、第15条関係)
危険物・引火性の物 (30℃ <= 引火点 < 65℃)
名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):
シクロヘキサノン(区分内番号231)
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法
第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III
化審法
優先評価化学物質
シクロヘキサノン(政令番号131 人健康影響)
船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3
海洋汚染防止法
有害液体物質(Z類):シクロヘキサノン

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2013 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版,経済産業省)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。